

杉戸という地名②

杉戸町の杉戸という地名は、確実な史料としては江戸時代以降のものでしか確認されません。つまり、戦国期くらいまでの確実な史料には、「現在の杉戸」に比定できる地名は全く登場しないのです。

そうした中で、狭山市にある日蓮宗寺院の信立寺が所蔵する慶長二年（一五九七）のものと思われる史料（古文書）には、「すき」という文言が登場し、これが杉戸地名の初見史料だとする説があります。果たしてそうでしょうか。

この史料を発給した人物は、池上本門寺貫主の日愷という人物であると言われています。日愷は、徳川家康などとも親交があった人物で、「神楽坂の毘沙門さま（善國寺）」などを創建した人物としても知られています。ところで、「すきと（杉戸）」文言が登場するといわれる核心部分を見てみましょう。

「（前略）能々火之用心頼入候へ、随而本陽寺持病氣すきとまで御入候哉、是多令氣遣候へ」ところ越申候、（後略）」

発給者（差出人）が日愷であるだけでなく、宛所も日蓮宗の関係者であることから、それ

に絡んだ史料であることは押さえておく必要があります。当時、杉戸地域付近には日蓮宗信仰の目立った形跡は他の史料上等には見られません。穿った見方をすれば、杉戸に比定できる可能性は低くなるのではないのでしょうか。

（つづく）



▲信立寺文書

（社会教育課 町史・文化財担当編）

杉戸シニアの元気印★シニアサロン

⑫

シニアサロン事務局

高齢介護課 高齢者福祉担当 内線317・318

ふれ愛フレッシュサロン（中央地区）

活動日

月～金曜日
（詳細はお問合せください）

活動場所

フレッシュ会館
（所在：杉戸3009-63）

フレッシュタウン以外に
お住まいの方も多く参加
され、交流を深めています。
ぜひ一度のぞきに
きてください。

サロンの特徴（活動内容）

定期的に、げんきSUGI体操、囲碁・将棋、健康麻雀、手芸、映画、歌声、パソコン、暮らしの保健室、料理教室&晩酌、不定期に介護や終活の勉強会と、活発に活動しています。

▶ふれ愛フレッシュサロンについての問合せ

佐藤 ☎（32）2435

